

要件定義書

1. 共通編

横浜市立大学 教育推進課

2024/10/17

目次

1. 仕様書概要説明	3
1.1. 調達の背景および目的	3
1.2. 調達物品および構成内訳	3
1.3. 技術的要件の概要	3
1.4. 技術仕様に関する留意事項	3
1.5. 導入に関する留意事項	3
1.5.1. 機器設置	3
1.5.2. 電源	4
1.5.3. その他	4
1.6. 禁止事項	4
1.7. 守秘義務	4
2. 調達物品に備えるべき技術的要件	4
2.1. ハードウェア	4
2.2. サーバソフトウェア	5
2.3. クライアントソフトウェア	5
3. 教務電算システムに関する基本要件	5
3.1. 基本要件	5
3.2. データ移行	5
3.3. データ管理	5
3.4. ユーザインターフェース	6
3.5. 操作権限	6
3.6. ダウンロード	7
3.7. アップロード	7
3.8. エラーハンドリング	7
3.9. バックアップ	7
3.10. 学内データ連携	7
3.11. セキュリティ／保守	8
4. 用語集	8
5. 凡例	9
6. 汎用検索	10
6.1. 学生検索	11
6.1.1. 入力項目例（検索条件）	11

6.1.2.	出力項目例（学生検索）	11
6.2.	教職員検索	12
6.2.1.	入力項目例（検索条件）	12
6.2.2.	出力項目例（教職員検索）	12
6.3.	科目検索	13
6.3.1.	入力項目例（検索条件）	13
6.3.2.	出力項目例（科目検索）	13
6.4.	講義検索	14
6.4.1.	入力項目例（検索条件）	14
6.4.2.	出力項目例（講義検索）	14
6.5.	高校検索	15
6.5.1.	入力項目例（検索条件）	15
6.5.2.	出力項目例（高校検索）	15
6.6.	大学検索	16
6.6.1.	入力項目例（検索条件）	16
6.6.2.	出力項目例（大学検索）	16
6.7.	志願者検索	17
6.7.1.	入力項目例（検索条件）	17
6.7.2.	出力項目例（志願者検索）	17
7.	一覧ダウンロード	18
7.1.	学生情報ダウンロード	19
7.1.1.	入力項目例（検索条件）	19
7.2.	入試情報ダウンロード	20
7.2.1.	入力項目例（検索条件）	20
7.3.	内定・進路決定情報ダウンロード	21
7.3.1.	入力項目例（検索条件）	21
7.3.2.	出力項目例（検索結果）	21

1. 仕様書概要説明

1.1. 調達背景および目的

横浜市立大学（以下、本学）は、国際総合科学部、データサイエンス学部と医学部の3学部、（平成31年からは国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部、医学部の5学部）都市社会文化研究科、国際マネジメント研究科、医学研究科、生命ナノシステム科学研究科、生命医科学研究科、データサイエンス研究科の6研究科を横浜市内4キャンパスに展開し、附属2病院を擁する総合大学である。

現在、本学で使用している教務電算システムは、平成26年に導入され、今年度で10年が経過する。その間、文部科学省の政策をはじめ、少子化の進行や高等教育のユニバーサル化など大学を取り巻く社会環境は目まぐるしく変化している。

教務電算システムに関してもこれまで様々な要望が挙がっており、これらを解決すべく、また今後の機能拡張を見据えた上で、現行のシステムを更新し、新たな教務電算システムを構築する。

1.2. 調達物品および構成内訳

教務電算システム用ハードウェア 一式

※必要なハードウェア構成と仕様については、「(添付資料5) 教務電算システムハードウェア仕様書」参照

1.3. 技術的要件の概要

- ・ 本調達物品に係る性能、機能および技術等（以下、「性能等」という）の要求要件（以下、「技術的要件」という）は、「2.調達物品に備えるべき技術的要件」に示すとおりである。
- ・ 機能に関する要件は基本的に必須の要件であるが、「望ましい」と記載した箇所に関しては、このとおりではないものとする。

1.4. 技術仕様に関する留意事項

- ・ 提案するハードウェアは入札時において、すべて製品化されていること。

1.5. 導入に関する留意事項

1.5.1. 機器設置

- ・ 教務電算システムを構成する機器およびシステムは、一部を除いて必要なサーバ資産はセキュアなクラウド環境に構築すること。
※必要なクラウド要件については、「(添付資料5) 教務電算システムハードウェア仕様書」参照
- ・ 物品の搬入、据付、配線、調整を行うこと。なお、これらに係る費用は本調達に含む。

- ・ 導入工程表を作成し、本学の下承を得ること。なお、工程表には工程名称、期間、目的、定例報告予定日、各システムの導入時期、ユーザ研修などのマイルストーンを明記すること。

1.5.2. 電源

- ・ 電源は、学内に設置する必要がある機器については既設の電源設備以外の電源を必要とする場合は、本学と協議のうえ、設備を用意すること。
- ・ 原則、最寄りの分電盤より分岐して電源をとるなどして対処すること。また、これと異なる電圧、周波数の電源で稼動する装置は、電圧変換、周波数変換等の設備を用意すること。
- ・ 電源コンセントの形状により変換アダプタが必要な場合は用意すること。

1.5.3. その他

- ・ ソフトウェアなどの資産管理、およびライセンス管理を適正に実現可能となるよう考慮すること。

1.6. 禁止事項

- ・ 本学の既存業務サービスに対する設定変更作業は禁止とする。
- ・ その他、本学が想定していない機器設置・設定変更作業は禁止とする。
- ・ ただし、本学と協議の上、認められた設定変更に対しては、これを許可する。その際に発生する費用はすべて負担すること。

1.7. 守秘義務

- ・ 本調達にあたり、知り得た情報については、守秘義務があり、また本学より提供を受けたノウハウ等に関する権利は、公立大学法人 横浜市立大学に所属するものとする。したがって、必要の範囲以外の第三者への本仕様書の開示、または複製などの行為は一切行ってはならない。また、本仕様書に明記されていない事項について疑義があれば、本学に問い合わせること。

2. 調達物品に備えるべき技術的要件

2.1. ハードウェア

- ・ 導入するシステムの動作保証を得られること。また、指定するバージョンが最新であること。
- ・ サーバ機器、および構成は、本学の学生数、教職員数を考慮し、十分な処理性能を発揮できるものであること。

- ・ データのバックアップ／リカバリ機能を有すること。
- ・ 本学が所有している、あるいは承諾したウイルス対策ソフトをインストールすること。
- ・ 電源は冗長化されていること。
- ・ WEB サーバ間のアクセス負荷を分散する機能を有すること。
- ・ その他、「添付資料5）教務電算システムハードウェア仕様書」に記載の要求事項を満たしていること。

2.2. サーバソフトウェア

- ・ サーバソフトウェアは、本学の学生数、教職員数を考慮し、十分な処理性能を発揮できるものであること。

2.3. クライアントソフトウェア

- ・ Google Chrome および Safari で動作確認が行われていること。また、Microsoft Edge にも対応していることが望ましい。各ブラウザのバージョンについては、サービス本稼働時の最新バージョンで動作可能とすること。
- ・ スマートフォン、タブレットで動作確認が行われていること。

3. 教務電算システムに関する基本要件

3.1. 基本要件

- ・ 教務システム（以下、新システム）は、『学籍管理（奨学金、健康管理を含む）』、『教務』、『証明書』、『学納金』、『入試』、『就職』、『出席管理』、『ポータル』、『学生カルテ』の機能を有すること。
- ・ 本学での導入にあたり、上に挙げた機能について、国公立大学での安定稼働の実績があること。

3.2. データ移行

- ・ 現在、本学で稼働している教務電算システム（以下、現システム）は『学籍管理（奨学金、健康管理を含む）』、『教務』、『証明書』、『学納金』、『入試』、『就職』、『出席管理』、『ポータル』、『学生カルテ』の機能がある。これらのデータを新システムに移行し、継続して使用できること。データ移行に係る費用は本調達に含むこととする。

3.3. データ管理

- ・ 新システムで使用するデータベースは一元化されていること。
- ・ 全てのテーブルを公開し、データベース定義書を提示すること。
- ・ データベースサーバ内に本番環境とテスト環境を用意すること。

※本番環境とテスト環境はサーバを物理的に分けること

- ・ 各レコードは最終更新日、最終更新者を保持すること。
- ・ パッケージ標準の管理項目以外に、本学で必要な項目は拡張項目として設定できること。
- ・ 在学生だけでなく、卒業や退学、除籍で非在籍となった学生のデータも保持し、必要に応じて照会できること。
- ・ 住所等の変更を行った際に、機能名、更新箇所、更新日時、更新者を履歴として登録できると望ましい。
- ・ 検索条件は AND 条件を有すること。
- ・ 学籍番号などの検索条件は、範囲指定だけでなく、複数指定もできること。
- ・ 検索条件には、入力値を含むこと。
- ・ 入力値の完全一致、前方一致検索、または部分一致検索を有すること。

3.4. ユーザインターフェース

- ・ 入力画面には「実行」ボタンを配置し、入力内容の登録ができること。
- ・ 入力画面には「クリア」ボタンを配置し、入力内容の消去ができること。
- ・ 画面には「メニューに戻る」ボタンを配置し、メニューに該当する画面に遷移できること。
- ・ 1メニューの中で画面遷移が発生する場合は、「(前画面に) 戻る」ボタンを配置し、前画面に遷移できること。
- ・ ユーザが入力する項目には、入力チェック（必須、桁数、属性など）を行い、不備のあるデータが登録されないこと。
- ・ 住所の入力アシストとして、郵便番号から住所の検索ができること。
- ・ 選択肢のプルダウンに表示する項目は、ユーザ（管理者）によって増減ができること。
- ・ 出力値は、テーブルに登録されているとおりとすること。
- ・ 文字コードは Shift-JIS、UTF-8 に対応していること。
- ・ 画面から、操作のヘルプ画面が表示できること。
- ・ 一覧の表示件数はユーザごとに選択できると望ましい。
- ・ 一覧には項番の表示があると望ましい。
- ・ 各画面に、ユーザ間の連絡情報を共有するメモ機能があると望ましい。
- ・ 西暦、和暦の両方に対応していると望ましい。

3.5. 操作権限

- ・ 各機能やメニューの表示は、所属部署ごと、ユーザごと、任意のグループごと等に権限を設定することにより、表示／非表示、登録／照会等の制御ができること。
- ・ 権限の付与は管理者権限を持つユーザが実行できること。

3.6. ダウンロード

- Excel または CSV 形式の一覧と、PDF 形式の帳票とすること。
- 一覧は、ヘッダ行にテーブルの論理名を出力すること。
- 帳票は、プレビュー、印刷設定、紙での出力、ファイルでの保存ができること。
- 帳票は、そのレイアウトを Excel で作成、編集できること。
- 帳票でダウンロードできるデータは、一覧でのダウンロードもできること。
- ユーザが抽出項目と抽出条件を設定してのダウンロードができること。
- この場合、抽出パターンの登録、さらに登録したパターンを所属内で共有できること。
- 出力値は、テーブルに登録されているとおりとすること。

3.7. アップロード

- データー一括登録時のフォーマットは Excel (CSV) とすること。
- アップロードデータにエラーがあった場合は、正常データのみを登録し、エラーデータは、エラーリストに出力すること。

3.8. エラーハンドリング

- オペレーションミスによるエラー発生時は、操作中の画面にエラー内容がわかるメッセージを表示し、操作を続行できること。
- 予期せぬエラー発生時は、システムエラーである旨の表示画面に遷移し、操作は続行できないこと。このとき、速やかにエラー原因の特定ができるよう、エラーコードの表示があると望ましい。
- エラーが発生した場合は、原因の特定ができるよう、ログにその旨を出力すること。

3.9. バックアップ

- 新システムの全サーバのシステムバックアップを対象とすること。
- ストレージを利用したディスクバックアップを実施すること。
- フルバックアップと差分バックアップを実施すること。
- バックアップはすべて自動化されていること。
- バックアップ専用 LAN を設置し、バックアップによる他の業務へ影響を抑えること。

3.10. 学内データ連携

- 本学の基幹システムとの自動データ連携および AD サーバとの LDAP 認証連携が可能であること。
- 本学で契約する Microsoft365 (EntraID) との SAML 認証連携が可能であること。
- 本学の LMS システムとの自動データ連携が可能であること。

- ・ 本学の出席管理端末との自動データ連携が可能であること。
- ・ 本学の証明書自動発行機および証明書発行用管理パソコンでの証明書発行に必要な自動データ連携が可能であること。

3.11. セキュリティ／保守

- ・ 学生や職員の個人情報を扱うシステムであり、またポータル等、一部の機能は学外からのアクセスを許可するため、強固なセキュリティ環境を実現していること。
- ・ アクセスログを出力すること。
- ・ メンテナンス体制として、オンライン保守、オンサイト保守を実施すること。
- ・ 保守（サポート）担当は、新システムに関する機器保守を行うと共に、「セキュリティ対策」、「障害対策」、「障害対応」、「Q&A」等を行うこと。また、運用支援について援助・協力すること。
- ・ 本調達における契約締結後、新システムに関するシステム構成図、設計図などを管理し、システム更新及び仕様変更などに対応できるように最新のものにしておくこと。
- ・ 本システムの運用やサービスのため、操作に必要なマニュアル作成・管理を行うこと。
- ・ 停電時のシステム停止および復旧などに対し、本学と協議し、対応すること。
- ・ 障害発生時は、速やかに協議を行い対応すること。
- ・ 強固なセキュリティ環境を実現するため、WindowsUpdate を 1 回/年、実施すること。
- ・ 教務電算システムの陳腐化を防ぐため、バージョンアップに対応していること。
- ・ 標準的な保守期間（5 年間）を超える保守に関しては部品の保有状況に応じて協議の上、実施すること。

4. 用語集

本定義書、および各種資料に登場する用語を解説する。

- ・ **【設置】** 横浜市立大学、横浜市立大学大学院、横浜市立大学看護短期大学部をまとめて指す。
- ・ **【横浜市立大学看護短期大学部】** 平成 20 年に廃止しており、現在は医学部看護学科となっている。
- ・ **【所属】** 設置、学部、学科、専攻、コースを連結した項目。
- ・ **【PE】** 外国語科目「Practical English」の略称。なお、当科目は卒業要件に含む。
- ・ **【在籍区分】** 学生が本学に在籍しているか否かを示す区分。
- ・ **【在籍状態】** 在籍生、非在籍生の状況を示す区分。通常、卒業、休学、留学、退学、除籍など。
- ・ **【学生種別】** 学生を分類する区分。学部生、大学院生、研究生、科目等履修生、特別聴講学生など。

- ・ 【分野コード】【系列コード】科目を分類する区分。
- ・ 【卒業判定カテゴリ】卒業判定の実施を分類する区分。
- ・ 【医学科入学枠】医学部医学科の学生の入学枠を分類する区分。一般枠、地域医療枠、神奈川県指定診療科枠。医学科以外の学生は対象外。
- ・ 【キャリアサポーター】就職支援のために協力できると申告した卒業生をキャリアサポーターとして登録する。
- ・ 【志願先】志望の学部、学科を連結した項目。

5. 凡例

- ・ イタリック体 … 区分・コード定義から選択する項目。データ移行時に注意。
- ・ ★ … 既存システムになく、特に追加を希望する新機能。
- ・ ● … 共通の検索機能。

※当機能要件のメニュー構成、機能名、項目名等は、本学の要望が伝わるよう定義したものである。新システムにおいて、同等の機能が保証されていれば、これらは同一である必要はない。

6. 汎用検索

複数の機能（メニュー）で汎用的に行われる検索を以下のとおり挙げる。

汎用検索の機能一覧

機能名	対象		
	職員	教員	学生
学生（非在籍生を含む）検索	○		
教職員検索	○		
科目検索	○		
講義検索	○		
高校検索	○		
大学検索	○		
志願者検索	○		

6.1. 学生検索

条件を入力し、学生を検索する。入力、出力項目例は以下のとおり。

- 非在籍生（退学、卒業生）も抽出できること。

6.1.1. 入力項目例（検索条件）

項目名	桁	内容	備考
学籍番号	8	学籍番号を入力する	前方一致
フリガナ	50	フリガナを入力する	前方一致
氏名	20	氏名を入力する	前方一致
設置		設置を選択する	リストから選択
学部		学部を選択する	
学科		学科を選択する	
専攻		専攻を選択する	
コース		コースを選択する	
学年		学年を選択する	
在籍区分		在籍区分を選択する	
在籍状態		在籍状態を選択する	
学生種別		学生種別を選択する	
ソート条件		ソート条件を選択する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学籍番号順 ・ 所属、学年順

6.1.2. 出力項目例（学生検索）

項目名	桁	内容	備考
学籍番号	—	学籍番号を表示する	
学生氏名	—	学生氏名を表示する	
所属	—	所属を表示する	
学年	—	学年を表示する	
在籍状態	—	在籍状態を表示する	

6.2. 教職員検索

条件を入力し、教職員を検索する。入力、出力項目例は以下のとおり。

6.2.1. 入力項目例（検索条件）

項目名	桁	内容	備考
教職員番号	8	教職員番号を入力する	前方一致
フリガナ	50	フリガナを入力する	前方一致
氏名	20	氏名を入力する	前方一致
教職員区分		常勤か否かを選択する	リストから選択
教員身分		教員身分（教授、准教授など）を選択する	
設置		設置を選択する	
学部		学部を選択する	
学科		学科を選択する	
専攻		専攻を選択する	
コース		コースを選択する	
ソート条件		ソート条件を選択する	・教職員番号順 ・50音順

6.2.2. 出力項目例（教職員検索）

項目名	桁	内容	備考
教職員番号	—	教職員番号を表示する	
氏名	—	氏名を表示する	
教職員区分	—	教職員区分を表示する	

6.3. 科目検索

条件を入力し、科目を検索する。入力、出力項目例は以下のとおり。

6.3.1. 入力項目例（検索条件）

項目名	桁	内容	備考
科目コード	6	科目コードを入力する	前方一致
フリガナ	60	フリガナを入力する	前方一致
科目名	60	科目名を入力する	前方一致
分野コード		分野コードを選択する	リストから選択
系列コード		系列コードを選択する	
ソート条件		ソート条件を選択する	<ul style="list-style-type: none"> ・科目コード順 ・分野系列コード順 ・50音順

6.3.2. 出力項目例（科目検索）

項目名	桁	内容	備考
科目コード	—	科目コードを表示する	
科目名	—	科目名を表示する	
単位数	—	単位数を表示する	

6.4. 講義検索

条件を入力し、講義を検索する。入力、出力項目例は以下のとおり。

6.4.1. 入力項目例（検索条件）

項目名	桁	内容	備考
講義コード	8	講義コードを入力する	前方一致
フリガナ	60	フリガナを入力する	前方一致
講義名	60	講義名を入力する	前方一致
成績担当者		成績担当者を入力する	●教職員検索
カリキュラム年度	4	カリキュラム年度を入力する	YYYY
開講期		開講期を選択する	リストから選択
設置		設置を選択する	
学部		学部を選択する	
学科		学科を選択する	
専攻		専攻を選択する	
コース		コースを選択する	
曜日		曜日を選択する	
時限		時限を選択する	
ソート条件		ソート条件を選択する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義コード順 ・ 50 音順 ・ 開講期順

6.4.2. 出力項目例（講義検索）

項目名	桁	内容	備考
講義コード	—	講義コードを表示する	
講義名	—	講義名を表示する	
成績担当教員	—	成績担当教員を表示する	
時間割	—	時間割を表示する	

6.5. 高校検索

条件を入力し、高校を検索する。入力、出力項目例は以下のとおり。

6.5.1. 入力項目例（検索条件）

項目名	桁	内容	備考
高校コード	6	高校コードを入力する	前方一致
フリガナ	50	フリガナを入力する	前方一致
高校名	40	高校名を入力する	前方一致
都道府県		都道府県を選択する	リストから選択
国公立		国公立を選択する	
ソート条件		ソート条件を選択する	・ 高校コード順 ・ 50 音順

6.5.2. 出力項目例（高校検索）

項目名	桁	内容	備考
高校コード	—	高校コードを表示する	
都道府県	—	都道府県を表示する	
高校名	—	高校名を表示する	

6.6. 大学検索

条件を入力し、大学・大学院を検索する。入力、出力項目例は以下のとおり。

6.6.1. 入力項目例（検索条件）

項目名	桁	内容	備考
大学コード	4	大学コードを入力する	前方一致
フリガナ	50	フリガナを入力する	前方一致
大学名	40	大学名を入力する	前方一致
所在地		所在地（都道府県）を選択する	リストから選択
ソート条件		ソート条件を選択する	・大学コード順 ・50音順

6.6.2. 出力項目例（大学検索）

項目名	桁	内容	備考
大学コード	—	大学コードを表示する	
所在地	—	所在地を表示する	
大学名	—	大学名を表示する	

6.7. 志願者検索

条件を入力し、志願者を検索する。入力、出力項目例は以下のとおり。

6.7.1. 入力項目例（検索条件）

項目名	桁	内容	備考
願書整理番号	8	願書整理番号を入力する	前方一致
受験番号	8	受験番号を入力する	前方一致
フリガナ	40	フリガナを入力する	前方一致
氏名	20	氏名を入力する	前方一致
学部		学部を選択する	リストから選択
学科		学科を選択する	
入試状況		入試状況を選択する	
出身校所在地		出身校所在地（都道府県）を選択する	
ソート条件		ソート条件を選択する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 願書整理番号順 ・ 受付番号順 ・ 50 音順

6.7.2. 出力項目例（志願者検索）

項目名	桁	内容	備考
願書整理番号	—	願書整理番号を表示する	
受験番号	—	受験番号を表示する	
氏名	—	氏名を表示する	
入試学部・学科	—	入試学部・学科を表示する	
入試状況	—	入試状況を表示する	

7. 一覧ダウンロード

各種分析や調査、検証用に、各テーブルから任意の条件で抽出した一覧を Excel（CSV）でダウンロードできること。

基本的に、テーブルごとに抽出項目や条件を指定するが、テーブルを跨ぐ抽出項目や条件を指定することも可能であること。

ただし、健康診断の受診結果、学納金の振替口座番号など、学生のプライバシーや、情報セキュリティ上、むやみにダウンロードしては問題があるデータが存在するため、ダウンロードには権限設定が適用されること。

抽出項目や条件はパターン登録ができ、個人使用だけでなく、所属内で共有できると望ましい。

次項より、登録が予想される抽出パターンを挙げる。

登録が予想される抽出パターン

機能名	対象		
	職員	教員	学生
学生情報ダウンロード	○		
入試情報ダウンロード	○		
内定・進路決定情報ダウンロード	○		

7.1. 学生情報ダウンロード

学生情報の一覧をダウンロードする。

- 学籍情報を管理するテーブルの全項目を出力対象とすること。
- ユーザが各自で出力したい項目を選択し、出力できること。
- このとき選択した項目は、出力パターンとして登録できること。

入力項目例は以下のとおり。

7.1.1. 入力項目例（検索条件）

項目名	桁	内容	備考
設置		設置を選択する	リストから選択
学部		学部を選択する	
学科		学科を選択する	
専攻		専攻を選択する	
コース		コースを選択する	
学年		学年を選択する	
学籍番号	6	学籍番号を入力する	●学生検索機能

7.2. 入試情報ダウンロード

入試情報一覧をダウンロードする。

- 入試情報を管理するテーブルの全項目を出力対象とすること。
- ユーザが各自で出力したい項目を選択し、出力できること。
- このとき選択した項目は、出力パターンとして登録できること。

入力、出力項目例は以下のとおり。

7.2.1. 入力項目例（検索条件）

項目名	桁	内容	備考
入試年度	4	入試年度を入力する	YYYY
入試制度		入試制度を選択する	リストから選択
志願先		志願先を選択する	
受験番号	8	受験番号を入力する	●志願者検索機能
学籍番号	6	学籍番号を入力する	●学生検索機能

7.3. 内定・進路決定情報ダウンロード

進路情報一覧をダウンロードする。

入力、出力項目例は以下のとおり。

7.3.1. 入力項目例（検索条件）

項目名	桁	内容	備考
設置		設置を選択する	リストから選択
学部		学部を選択する	
学科		学科を選択する	
専攻		専攻を選択する	
コース		コースを選択する	
学年		学年を選択する	
学籍番号	6	学籍番号を入力する	●学生検索機能

7.3.2. 出力項目例（検索結果）

項目名	桁	内容	備考
学籍番号	—	学籍番号を表示する	
学生氏名	—	学生氏名を表示する	
卒業年度	—	卒業年度を表示する	
進学先	—	進学先を表示する	
就職先	—	就職先を表示する	
業種	—	業種を表示する	
職種	—	職種を表示する	
就職先所在地	—	就職先所在地を表示する	
上場名	—	上場名を表示する	
転職	—	転職有無を表示する	